

令和5年度

# 「運営に関する計画」

中間評価

大阪市立三稜中学校

令和5年10月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 学校規律の徹底を図ることにより、学校生活における安心・安全を確保し、落ち着いた状況で日々の学習活動を行っている。しかし、集団生活になじめない不登校生徒が増えており、日常の家庭訪問や時間をかけたきめ細やかな対応が必要である。
- 特別支援学級在籍で学校になじめず不登校傾向にある配慮の必要な生徒もあり、個に応じた指導を充実させている。
- 安心して成長できる環境が整った状態を維持しつつ、いじめについては「いつでも、どの生徒にも、どの学校においても起こり得る」という認識のもと、学校体制の連携を強化して早期発見、早期解決に全力で取り組んでいく。
- 校内調査において「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答が令和4年度は、4ポイント減少している。将来の夢、目標を持つ意義や、将来に向けての前向きな展望を考える機会を多くつくり、キャリア教育や進路学習のさらなる充実が必要である。
- 確かな学力の向上のために、ICT機器を活用した教育活動の推進、授業改善を進めており、生徒の学習意欲の向上がみられる。今後も教職員の積極的な授業改革に対する意欲の高揚を図り、「わかる授業」を研究し実践に移していく。
- 令和4年度の中学生チャレンジテストの対府比平均を同一母集団で比較すると、3教科・5教科とも向上がみられる。校内調査における「まじめに授業に取り組んでする」の肯定的回答は、学年が上がるごとに高くなっており、3年生は83%である。また「自分の考えをまとめたり、発表したりすることがありますか」の質問の肯定的な回答は82%であり、毎年向上している。しかし、学年や教科によって差があるため学習意欲をさらに高める工夫が必要である。
- 英語科における授業実践に合わせて、今年度も英語検定の校内団体受検会場として91名が受検し、3級以上の受検者は40名で、そのうち2級1名、準2級2名、3級20名の合格であった。今後も、生徒に目標を持たせ、英語の4技能の向上を進めていく。
- 令和4年度の全国体力・運動能力・運動習慣等の調査結果については、体力合計点は、男女とも全国平均を上回っている。しかし、男女とも反復横跳びと20mシャトルランの記録が全国・大阪市平均を下回っており、敏捷性・持久力に課題が残る。
- 教員の勤務時間に関する基準1(時間外勤務が週45時間・年間360時間を超えない)を満たす教職員の割合は増えているが、今後も業務のスリム化、勤務時間を意識した働き方が必要である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育環境の推進】

- 年度末の校内調査における「学校生活は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を毎年、前年度より減少させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、70%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の調査の「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を75%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点(全国平均を100とする)を、令和3年度より向上させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点を、令和3年度より5ポイント向上させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の全国学力・学習状況調査の「学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の項目について肯定的な回答を95%以上にする。
- 令和7年度には、ゆとりの日については、週1回以上設定する。  
学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する
- 令和7年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、70%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通年度目標（中学校）

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- ① 年度末の校内調査における「学校生活は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。
- ② 年度末の校内調査における「命や人権の大切さについて考える学習がある」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。
- ③ 年度末の校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、67%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通年度目標（中学校）

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を55%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- ① 全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点(全国平均を100とする)を、昨年度より向上させる。
- ② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点を、昨年度より向上させる。
- ③ 年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、食べていないと回答する生徒の割合を5%以下にする。
- ④ 年度末の校内調査における「授業はわかりやすく楽しいですか」に対して、肯定的に回答する割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通年度目標（中学校）

- 校内調査で「学習用端末(タブレットパソコン)を活用(学活・教科指導・家庭学習等)する機会がある」に対して最も肯定的な回答をする割合を70%以上にする。
- 働き方改革推進プランに掲げる「教員の一人当たりの平均時間外勤務」を校種別(大阪市立中学校)の平均時間以下にする。

学校園の年度目標

- ① 年度末の校内調査において、「図書室を利用したことがありますか」に対して、「ない」と回答する割合を25%以下にする。
- ② 年度末の校内調査において、「学校の様子をホームページ・通信等で情報公開をよく行っている」に対して、肯定的に回答する割合を95%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立三稜中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通年度目標(中学校)</b> ○ 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 <b>学校園の年度目標</b> ① 年度末の校内調査における「学校生活は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。 ② 年度末の校内調査における「命や人権の大切さについて考える学習がある」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。 ③ 年度末の校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、67%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめは、いつでも、どの生徒にも、どの学校においても起こり得るという認識のもと、早期発見、早期解決に取り組む。 指標 いじめ調査を学期に1回以上実施し、組織的に解決に取り組む。	B
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生徒の現状と課題に即した教育相談活動を充実する。 指標 年間2回以上の教育相談週間を設けるとともに、タブレットパソコンの相談機能の活用や1日に1回以上、心の天気の利用を進める。	B
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 人権学習に計画的・系統的に取り組み、人権感覚の向上と互いに認め合う集団づくりに取り組む。 指標 学校・学年の課題に即し、年間4分野以上の人権課題について実践を行う。	B
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育に取り組み、学年ごとに子どものニーズに合わせ将来について考える教育に取り組む。 指標 将来の生き方について考える学習があると肯定的に回答する割合を高める。	B
取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 感動する心や豊かな心を育む行事・取り組みを実施する。 指標 芸術鑑賞や体験学習、講演会をそれぞれ1回以上実施する。 人が困っているとき、進んで助けると肯定的に回答する割合を高める。	B
取組内容⑥【基本的な方向2 安全・安心な教育環境の実現】 大阪市部活動指針に基づき、運動部や文化部の活動を充実させる。 指標 部活動に意欲を持って取り組み、「部活動が活発で楽しい生徒ですか」の肯定的回答の割合を高める。	B

【年度目標】について

全市共通年度目標（中学校）

- 1学期に「いじめ・いのちについて考える日」を設定するとともに、学校生活において他を思いやることの大切さを伝え、いじめを許さない学校づくりを進めている。
- 不登校生徒について、学級担任だけでなく学年、学校全体で取り組み、必要に応じて関係機関と連携しながら取り組んでいる。
- 一部の生徒に別室登校やサテライトへの通所など改善される様子が見られる。

学校園の年度目標

- ① 1学期は修学旅行や校外学習を実施し、2学期は文化祭や運動会などの学校行事を中心に主体的な取り組みを予定し充実した学校生活が送れるよう計画している。
- ② 夏休みには平和登校日に反戦平和について考える機会を設定した。2学期以降も道徳の授業をはじめ、人権意識の醸成に向けての取り組みを実施していく。
- ③ 将来への夢や希望が持てるように進路学習の充実や地域での職場体験学習の実施を進めている。

【取組み内容】について

- ① 定期的にいじめ調査は実施できている。日々の生活指導においても、いじめにつながるようなことはないか注意深く調査して指導にあたっている。
- ② 教育相談は予定通り実施している。心の天気に関しても毎日複数の教員でチェックして生徒の変化に対応できている。
- ③ 年間指導計画に基づいて実践を進めている。芸術鑑賞会では在日外国人への差別、平和登校日には反戦平和の学習を行うことができた。
- ④ 3年生は進路に向けてSPトランプを活用したり、出前授業などを実施して生徒個々への細やかな指導を継続している。2年生では職場体験の実施に向けて進めている。1年生はSPトランプで自己を知り、将来についての職業調べを実施予定。
- ⑤ 芸術鑑賞会では、パフォーマンス鑑賞と人権講演を同時に実施し、在日外国人への差別の問題について考えた。夏休み中の平和登校日にも平和学習として、講演会を実施した。それぞれの学年において、校外学習等で体験学習を実施した。
- ⑥ 全ての部活動において複数の顧問を配置して、プレイヤーズファーストの名のもとに生徒個々の状況に応じた指導をしている。

今後への改善点

不登校生徒の別室登校の回数が増えたり、関係諸機関との繋がりができてきたりと少しずつ改善が見られる。

## 大阪市立三稜中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通年度目標(中学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。</li> <li>○ 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。</li> <li>○ 大阪市英語力調査CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を55%以上にする。</li> <li>○ 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点(全国平均を100とする)を、昨年度より向上させる。</li> <li>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点を、昨年度より向上させる。</li> <li>③ 年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、食べていないと回答をする生徒の割合を5%以下にする。</li> <li>④ 年度末の校内調査における「授業はわかりやすく楽しいですか」に対して、肯定的に回答する割合を85%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>各調査やテスト等の結果を分析し、学習サポーターの活用や、放課後・テスト前学習などの補充学習により、基礎・基本の定着に取り組む。</p> <p>指標 全国学力・学習状況調査、大阪府チャレンジテストの平均無解答率を減少させる。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育の授業を中心に、筋力・巧緻性・瞬発力等を高める運動を実施する。</p> <p>指標 全国体力・運動能力の各種目の平均値を向上させる。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業研究や相互授業参観などを実施し、教員の授業力向上に取り組む。</p> <p>指標 全教員が研究授業を年間1回以上実施するとともに、1回以上授業を参観する。</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>C-NETやデジタル教科書、デジタル教材の活用により、4技能すべての力の向上を図る。</p> <p>指標 大阪市英語力調査(GTEC)におけるCEFR-Jの評価を4技能すべてA1レベル以上の英語力を有する中学3年生の割合を高める。</p>	B
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>「食育通信」や「保健だより」などを通し、食育を推進する。</p> <p>指標 毎月1回以上、「食育通信」や「保健だより」を発行し、特に朝食の必要性について生徒の意識を向上させる。</p>	B
<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>生活アンケートを実施し、生徒の生活リズムなどの状況を把握する。</p> <p>指標 生活アンケートを年間1回以上実施し、結果を生徒・保護者へ周知する。</p>	B



## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【年度目標】について

#### 全市共通年度目標（中学校）

- 各教科の授業や学校行事に向けての学級での取り組みを通じて、話し合いや発表の場面を設定し、考えを深める活動を行っている。
- 中学生チャレンジテスト3年生は実施済み、1, 2年生は1月実施予定である。
- C-NETの教員との授業展開を実施するなかで読み、書きだけでなく、聞く、話す技能の向上に向けて取り組んでいる。大阪市英語力調査（GTEC）は10月18日実施予定。10月6日本校を会場として英検を実施し、100人程度の受験予定。
- 体育的活動を通じて、スポーツや運動をすることの楽しさを感じられる取り組みの充実を図る。

#### 学校園の年度目標

- ① 今年度の全国学力・学習状況調査の標準化得点（全国平均を100とする）は、国語：100、数学：99、英語：99であった。平均無回答率の改善が見られた。
- ② 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査は現在集計中である。
- ③ 日々の給食での指導や食育通信、保健だよりの発行等により食育教育をすすめている。
- ④ 授業アンケート、校内研究授業、研究協議を計画的に実施し、授業改善に役立てている。

### 【取組み内容】について

- ① 採点ソフトの活用が進み結果分析にも応用できるようになり、基礎学力の定着に役立てられるようにすすめている。
- ② 体育の授業において、全学年で準備運動にトレーニングを取り入れて運動能力の向上に努めている。
- ③ 6月に校内研究授業週間を終え、全教員参加の研究協議を行った。また、5年未満の若手教員を中心にスクールアドバイザーの指導を受け、授業改善を行っている。
- ④ C-NETやデジタル教科書、学習用端末を活用し、4技能の向上を意識した授業展開をしている。大阪市英語力調査（GTEC）が9月末現在、未実施のため、達成はできていない。
- ⑤ 毎月1回、食育だよりと保健だよりを発行し、食育の中でも特に朝食の必要性などについて掲載し、生徒の意識向上に努めている。
- ⑥ 11月に生活アンケートを実施予定としているため、現在準備を進めている。

### 今後への改善点

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果では、国語での向上している結果が見られたが、今後も1, 2年生も含めた大阪府チャレンジテスト等の結果も注視して分析を行い学力向上につなげていく。

## 大阪市内三稜中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通年度目標(中学校)</b> ○ 校内調査で「学習用端末(タブレットパソコン)を活用(学活・教科指導・家庭学習等)する機会がある」に対して最も肯定的な回答をする割合を70%以上にする。 ○ 働き方改革推進プランに掲げる「教員の一人当たりの平均時間外勤務」を校種別(大阪市内立中学校)の平均時間以下にする。  <b>学校園の年度目標</b> ① 年度末の校内調査において、「図書室を利用したことがありますか」に対して、「ない」と回答する割合を25%以下にする。 ② 年度末の校内調査において、「学校の様子をホームページ・通信等で情報公開をよく行っている」に対して、肯定的に回答する割合を95%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育デジタルトランスフォーメーション】 ICTを活用した、主体的・対話的・深い学びにつながる授業研究に取り組む。 指標 日々の学校生活でICT機器を活用できているという項目で肯定的な回答する割合を高める。	B
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 業務の効率化や外部人材により教職員の業務軽減を図る。 指標 月に1回以上、勤務時間を点検し、時間外勤務を前年度以下にする。	B
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 図書館を環境整備するとともに、定期的に本紹介のポスターや図書だよりを発行し、読書への興味を高める。 指標 図書室を利用したことがない生徒の割合を下げる。	B
取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域と連携・協力した教育の推進】 HPの活用や学年・学級通信を定期的に発行し、学校の情報を積極的に発信する。 指標 ホームページの更新回数を前年度以上にする。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

全市共通年度目標（中学校）

- 各教科において学習者用端末を活用した学習活動を進めている。
- 月ごとの「教員の一人当たりの平均時間外勤務」は、昨年度より1～4時間減少し改善が見られる。

学校園の年度目標

- ① 朝の読書、委員会活動等を通じて、読書への興味を高めている。引き続き図書室内を整備して読書活動の充実を図る。
- ② 日々の学校生活の様子をホームページにて更新している。学校だより、学年だよりの毎月発行も継続している。

【取組み内容】について

- ① 毎朝の「こころの天気」の入力や、日々の授業で ICT 機器を活用し、ICT 機器を身近に感じられるよう努めている。
- ② 住吉区補助スタッフの活用に加え、各種アンケートのデジタル化、採点ソフトの活用をすすめ教員の業務軽減に努めている。
- ③ 図書館を環境整備し、定期的に本紹介のポスターや図書だよりを発行することで、読書への興味を高めている。
- ④ 日々のホームページ更新や学校だより等の発行により学校の様子を広く知らせている。

今後への改善点

- ・学習者用端末を活用した学習機会は増えてきている。今後も有効な活用方法を共有できるように工夫をしていく。
- ・教員の平均時間外勤務は改善されているものの今後も日々の業務のスリム化に工夫が必要である。

・重点		令和5年度 主体的・対話的・深い学びのある授業づくり（目標）
	教科	各教科の目標
1	国語	・漢字の読み書きの能力を高め、基礎的な内容の定着をはかり、国語力の向上をはかる。
2	社会	・基礎的な知識、技能の定着を図り、言語活動や発表活動を通して思考力、判断力、表現力を醸成する。また、ICT 機器を活用し、効果的、効率的な授業展開を工夫する。
3	数学	ICT や学習プリントを活用し、基礎的な計算力と数学的思考に関する問題の正答率を向上させる。
4	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察、演示実験などの体験活動を通して、「思考・判断・表現」の能力向上をはかる。</li> <li>・小テストや宿題を定期的におこない、「主体的に学習に取り組む態度」を養うきっかけをつくる。</li> <li>・基本問題に加えて、発展的な問題演習を解く時間を作ることで「知識・技能」の定着をはかる。</li> </ul>
5	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、豊かな心を培う情操教育の充実を図る。</li> <li>・毎時間、明確な学習目標を設定し、授業の最後には各自の自己評価に取り組み、次に繋がる授業の展開を目指す。</li> </ul>
6	美術	学習プリントやワークシートを用いた学習で、基礎的な知識・技能の定着を図る。鑑賞と表現を通して、創造の喜びを体験させる。
7	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育委員のリーダーシップを育み、生徒主体の授業を展開する。</li> <li>・一人一人の基礎体力を向上させる。</li> <li>・前向きに取り組む協力し合う集団を目指す。</li> </ul>
8	技術・家庭	生徒が興味・関心を持って授業に対して意欲を高められるよう、教材の精選を行ない、視覚教材などを活用し、タブレット端末を利用しながら知識理解を深め、実践につなげることで生きる力を育む。
9	英語	C-NET や ICT 機器の活用により、英語への関心を高め、4 技能(Listening, Reading, Speaking, Writing)の向上を図る。
10	道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を通して、人間としての生き方を考え主観的な判断のもとで行動し、自立した人間性を培う。</li> <li>・他者の意見を聞く機会をもうけ、多様性を学び理解し、よりよく生きるための道徳性を身につける。</li> </ul>
11	特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画を本人、保護者と一緒に目標を決め、指導、支援を明確にする。また、多様な学びの場の中で個々に応じた目標を設定し、達成できるようにする。</li> <li>・自立活動を取り入れ、1 つでも多く、自分自身でできることを増やす。</li> </ul>

重点		令和5年度 主体的・対話的・深い学びのある授業づくり	
	教科	経過達成状況	今後の問題点
1	国語	学習漢字ノート、ワークの活用、プリント教材の工夫等で基礎的な内容の定着を図っている。各種コンクールへの応募 ICT 機器の活用等で興味関心を高めている。	引き続き基礎的な内容の定着を目指し、家庭学習の習慣をつけるための指導を続ける。作文、スピーチ等表現活動の取り組みも充実させていきたい。
2	社会	各学年とも、問題集やワークシートを活用し、基礎学力の定着を図っている。また ICT 機器の活用にも取り組むことができています。	資料を正しく読み取る力をつけ、さらに自分の考えや意見を表現する力をつけるための取り組みを継続的に行う必要がある。
3	数学	各学年の状況に応じて、学習プリントを活用しながら、基礎的な計算力と数学的思考を問われる問題に取り組んでいる。	数学的思考を問われる問題で、無回答の生徒を減少させるための授業展開や学習プリントを充実させる。
4	理科	各学年、より多くの実験・観察をおこなうことができた。また、基本問題だけでなく発展的な問題に取り組む時間をもつことができた。	より充実した実験のために、理科室の備品の充填をおこないたい。また、より深い知識の定着のために、記述式の問題演習をおこなう時間をとりたい。
5	音楽	・意図を持った表現の工夫につなげることを目標に、発問を投げかけたり、考えさせたりする活動に取り組んでいる。 ・毎時間の目標・振り返りをする活動は定着して取り組めている。	2、3年は週1授業なので、毎時間の学習内容がしっかりと次の授業に繋がる授業展開を行うことが必要である。 合唱コンクールの取り組みも授業展開に生かす取り組みにしたい。
6	美術	基礎的な知識・技能の定着につながるよう、学習プリントやワークシートを用いた学習・制作を行った。また個々で完結する作品づくりだけでなく、グループワークや作品の発表など行い、表現を言語化する取り組みを行った。	学年の傾向に沿って、意欲的に取り組めるよう題材についても見直していく。表現の言語化には課題が多く見られたため、より充実した鑑賞授業やグループワークを継続して続けていきたい。
7	体育	基礎体力は準備運動で行うトレーニングにおいて向上を図っている。またグループワークを取り入れながら、生徒主体の授業を展開するよう取り組んでいる。	より一層リーダーの育成に取り組み、生徒が主体となり積極的に取り組む授業を展開できるように努める。
8	技術・家庭	興味・関心を持って授業に取り組めるように視覚教材などを活用し、意欲向上に繋げている。実習やタブレットを活用することで、生きる力を育み、実践で活用できるスキルを身につけることができた。	知識理解を深めるために継続して興味関心を持って授業に取り組めるよう、しっかり教材の精選をし、視覚を取り入れた授業の展開に努める。
9	英語	C-NET やデジタル教科書、学習者端末を活用し、ペアワークやグループワークを通して対話的に学ぶ活動を行っている。また、4 技能の向上を図るため、分割授業を実施し、きめ細かい指導を行っている。	引き続き興味関心を高める教材選びや指導の工夫に努め、ペアワークやグループワークに主体的に取り組めるよう指導する。また、今後話す指導や書く指導も多く取り入れていきたい。
10	道徳	教材をより深く理解するだけでなく、自らの行動を振り返る機会を持つことができた。また、それを発表し相互理解に努めることができた。	評価の方法が、担当者によって異なるので、今後は共通理解を深め、同じ評価基準をつくっていききたい。
11	特別支援学級	・個別の教育支援計画、個別の指導計画を本人、保護者と作成することができた。また、多様な学びの場として個々に応じて抽出も行っている。 ・自立活動を学期ごとに設定し、目標を概ね達成できている。	・2学期、3学期も個別の指導計画を作成し、個々に応じた指導、支援を明確にする。 ・引き続き学期ごとに目標を立て、ステップアップし、達成できるようにサポートする。